

「「Labo Communication” ～歯科技工士から、チーム医療関係者との成功へ導くポイント～」

関 錦二郎

インターディシプリナリーアプローチ=歯科医療の中で各分野(歯周、外科、矯正、補綴)のプロフェッショナル DDS 同士の専門的な連携が注目される中、その以前より DDS、DH、DT のチームアプローチは必需とされてきた。

しかしながら、チェアサイドとラボサイドのコミュニケーション不足によるエラーや意思の不疎通などが両者のみならず患者様にも不利益を与える結果を誰しも経験しているところではないだろうか。チーム医療の一因として補綴製作分野を担当する技工士の視点から、補綴修復を成功に導くポイントやステップに必要な資料などを、実際の症例をもとに考えてみようと思う。